

《目次》

- トピックス
  - 「NPO法人南会津はりゅう里の会」が豊かなむらづくり顕彰事業で受賞しました
  - 「会津田島アスパラ」生産者がFGAPを取得しました
  - 農業関連の水路橋等の点検を実施しました
  - 林業研究グループ及び林業普及指導員の活動発表会が開催されました
  - 早生樹(センダン、ユリノキ)植栽の研修会を実施しました
  - あいづ「まるごと」ネット第2回交流会を開催しました
  - 農業用水路の改修工事を進めています
  - ニュースポーツ「モルック・カップ」を楽しもう
  - 食品表示法研修会を開催しました
  - 第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- 農林事務所からのお知らせ
  - 南会津地域森林病虫害等被害対策の取組を紹介します
  - 福島県農業士認定者及び退任者をご紹介します
  - 山火事予防のお願い
  - 山菜の出荷、販売についての注意とお願い
  - 保安林、林地開発許可制度について
- コラム
  - キラリと光る南会津の6次化商品～唐辛子にんにく～
  - 職員をつぶやき～南会津のうりん雑感～

令和4年3月15日発行 福島県南会津農林事務所



トピックス

「NPO法人南会津はりゅう里の会」が豊かなむらづくり顕彰事業で受賞しました

1月21日(金)に令和3年度の豊かなむらづくり顕彰事業表彰式が福島市で開催され、「むらづくり部門」で南会津町の「NPO法人南会津はりゅう里の会」が受賞しました。豊かなむらづくり顕彰は、集落等におけるむらづくり活動や農業生産活動に顕著な業績を収めている団体等を表彰し、その活動を広く紹介することで農林水産業・農山漁村の活性化に寄与することを目的に昭和56年から行われています。

「NPO法人南会津はりゅう里の会」は、林業産出額の減少や少子高齢化・過疎化が進む中で針生地区ならではの移住者と地区住民、都市の大学との「交流」や、森林資源の活用と仕事づくりを結びつけるためのアロマ事業などの「なりわいづくり」の活動が高く評価され、今回の受賞となりました。今後も、関係人口の増大や林業の活性化など、むらづくり活動の発展が期待されます。

(農業振興普及部)

豊かなむらづくり顕彰事業 表彰式



NPO法人南会津はりゅう里の会  
松澤瞬さん(左)、星奈津実さん(右)

「会津田島アスパラ」生産者がFGAPを取得しました

松島屋農園(南会津町)がアスパラガスでふくしま県GAP(FGAP)認証を取得し、1月24日(月)に南会津農林事務所にて大友所長から認証書が交付されました。FGAPにおいて、会津田島アスパラ部会の生産者が認証を取得するのは初めてです。

代表の湯田清記さんは、GAPの実践により安全かつ高品質な農産物生産に役立てていきたいと決意を新たにしていました。

(農業振興普及部)



代表 湯田清記さん(中央)

## 農業関連の水路橋等の点検を実施しました

昨年秋に和歌山市で発生した水管橋崩落事故を受けて、南会津地域で農業用として使われている水路橋、水管橋41箇所の緊急点検を実施しました。

これらの施設は、今まで地元や町などが点検管理していましたが、近年地域住民の高齢化や農業従事者の減少などで管理を適切に行うことが難しくなる中、各町との協議によって消雪や生活用水としても利用されているなど、災害が発生した場合の影響が比較的大きいと判断されたものを優先し、町と県の職員が直接現地点検を実施したものです。

結果、幸いにも早急な対応を必要とするものは見受けられませんでした。ヒビや錆などが発生し応急対応や長寿命化対策が必要と診断された施設が複数確認されました。

当事務所では、今後も定期的な点検を推進し、施設の適切な管理運営により長期間健全に機能を維持し続けられるよう体制の構築を目指します。

(農村整備部)



仮安沢水路橋（只見町）

## 林業研究グループ及び林業普及指導員の活動発表会が開催されました

1月31日(月)に林業研究グループ等活動発表会、2月1日(火)に林業普及指導員活動発表会がオンラインで開催されました。

林業研究グループ活動発表会では県内各方部から6団体の発表があり、南会津地域からは南会津町横町区里山づくり実行員会の君島満三さんが「横町弁天山里山再生事業への取組についての報告」と題して発表しました。十余年に及ぶ会員のボランティアによる森林整備活動や、四季折々に散策を楽しめる弁天山での各種イベントにより、地区外からの来場者との交流や会員の親睦が深められ、地域の活性化が図られていることについて紹介がありました。

また、林業普及指導員活動発表会では、県内各農林事務所・林業指導所から8件の発表があり、当事務所林業課の齋藤諒次技師による福島県オリジナルほんしめじ

(ふくふくしめじ)の栽培指導や販売支援の取組状況に関する発表が最優秀賞を受賞し、令和4年度に本県で開催される林業普及指導員東北・北海道ブロックシンポジウムに福島県代表として推薦されました。

10月から11月にかけてのふくふくしめじの出荷を楽しみにしててください。

(森林林業部)



横町区里山づくり実行委員会のみなさん(上)  
同地区における森林整備の様子(下)



## 早生樹(センダン、ユリノキ)植栽の研修会を実施しました

12月3日(金)に南会津町高野地区において、早生樹のセンダンとユリノキの植栽研修会を行いました。令和2年の秋に播種を行ない、昨年6月に発芽しわずか半年弱の育苗により植栽できる苗高になりました。当日は林業課職員・町村林務担当職員・森林組合職員により、およそ0.15haにセンダン45本、ユリノキ25本を植えました。

早生樹とは、一般的な造林樹種のスギやヒノキに比べて成長が早く、伐採するまでの期間が短い樹種のことを言います。早生樹は成長が早いことから保育作業で一番過酷な下刈り（植栽木が競合に負けないよう雑草や灌木を刈り払うこと）の省力化が図られます。また、センダンやユリノキは、伐採後に切株から萌芽する特徴があることから、再生林のために新植する手間が省け、更新のための大幅な費用削減が図られることも期待されます。

センダンもユリノキも、南会津地域では植栽の試みが緒に就いたばかりです。地域特有の深い積雪や寒暖差の大きい気候風土に適合した新たな造林樹種となり得るのか、今後の経過を見守っていきます。

(森林林業部)



センダン(上)、ユリノキ(下)  
(写真提供: 年樹株式会社(喜多方市))

## あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました

2月8日(火)、下郷ふれあいセンター(下郷町)において令和3年度あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました。

第1部では、NPO法人真・食の安全・安心支援機構理事の橘真美子氏より「これから始める♪SNS&Zoom活用セミナー」と題したご講演をいただき、参加者は自身の商品PRに適したSNSの選択方法や記事の投稿パターン、Zoomの活用方法など実践的な情報を学びました。また、ワークショップでは実際にZoomを活用して参加者同士が交流し、講演内容を実践するとともに、オンラインによるミーティングを体験しました。第2部ではふくしま地域産業6次化サポートセンターによる6次化無料個別相談会が行われました。

交流会参加者からは、コロナ禍においても新たな方法を取り入れて地域産業6次化を進めようという熱意を感じた交流会となりました。当事務所では今後も地域産業6次化の推進に取り組んでまいります。

(企画部)



交流会の様子

## 農業用水路の改修工事を進めています

中山間地域総合整備事業は国・県・地元自治体それぞれの補助金を活用し、農道の舗装や農業用排水路の改修、農村集落の生活環境改善など、文字通り農村地域を総合的に整備していく事業です。

南会津地域では現在2つの町で事業を実施していますが、南会津町福米沢地区では、春の農作業に向けて例年よりはるかに多い積雪の中、農業用水路の改修が進められています。

現場は既存の水路のコンクリートにヒビ割れが拡大し、漏れが発生して円滑な流れが妨げられ、土砂やゴミが堆積するなど施設の維持管理作業が大きな負担となっていました。

今回の改修工事の実施により水路が新しく生まれ変わることで、これからの維持管理に費やす時間と労力、そして経費の大幅な節減に期待が寄せられています。

(農村整備部)



福米沢地区の農業用水路回収作業の様子

## ニュースポーツ「モルック・クップ」を楽しもう

皆さんは今話題の木を使ったニュースポーツ「モルック・クップ」をご存じですか？  
どちらも木の棒を投げて遊ぶチーム対抗のスポーツで、モルックはノルウェー、クップはスウェーデンが発祥です。

ルールとしては、モルックは数字の書かれたピン（スキットル）を木の棒（モルック）で倒し、1本だけピンが倒れた場合は書かれている数字、2本以上倒れた場合は倒れた本数を得点として、先に50点ぴったりにすることを目指すスポーツです。クップはドッジボールのようなコートで互いに端から丸棒（カストピンナ）を投げ、先に相手のコートにある角材（クップ）をすべて倒し、最後に真ん中にあるキングを倒すのが目標のスポーツです。

12月3日(金)には南会津4町村の林務担当者に競技の説明と実技などの研修会を開催しました。また、地域のスポーツ振興担当課とも連携し地元スポーツ少年団への遊具の貸出しなどを行い普及に努めていきます。

どちらも木材の良さに触れられ、使う樹種によっては手触りや当たった時の音の違いなどがあり、実際にやってみると非常に楽しいスポーツですので、興味を持たれた方は当事務所までお問い合わせください。

(森林林業部)



スキットル(左)、モルック(右)



南会津町スポーツ推進委員とのモルック競技研修風景



## 食品表示法研修会を開催しました

12月15日(水)に御蔵入交流館(南会津町)において、食品表示法研修会を開催しました。南会津地域の農産物加工グループや直売所関係者、直販を行う農業者の方などを対象に、食品表示等の適正化を推進し、食品表示法についての理解を深めていただくことを目的に毎年開催しています。

平成29年9月に同法に基づく食品表示基準が改正され、原則として全ての加工食品に原料原産地表示が義務づけられました。経過措置期間が令和4年3月末で終了しますので、包装資材やラベルシールを補充の際には、現在のルールに則った表示内容へ切り替えるよう速やかに対応をお願いします。

なお、食品表示に関するご相談は、当事務所及び南会津保健福祉事務所で随時受付し連携して対応しています。

(企画部)



研修会の様子

## 第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました

12月18日(土)から26日(日)に会津高原星の郷ホテル(南会津町)で今年度4回目となる「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。キャンペーン期間中、宿泊された方に南会津地域で作付けが拡大している県オリジナル水稻品種「里山のつぶ」や地域の6次化商品をPRしました。

19日(日)は朝食会場でふくしまライシーホワイトが「里山のつぶ」をPRするとともに南郷トマトジュース等をプレゼントし、週末の夜には南会津産の木の実・枝を使って作る木工クラフトづくりやモルック(4ページを参照)体験を開催し、宿泊客に楽しんでいただきました。

当事務所では引き続き、南会津地域の農林産物の魅力をPRし、消費拡大や認知度向上に努めてまいります。

(企画部)



ライシーホワイトによるPR

## 農林事務所からのお知らせ

### 南会津地域森林病虫害等被害対策の取組を紹介します

カシノナガキクイムシ(カシナガ)の被害は「ナラ枯れ」と呼ばれ、ナラ類の樹木にカシナガが穿孔した際、ナラ菌が樹幹内部に持ち込まれてまん延することにより、樹木が通水障害を起こし枯死してしまう現象です。南会津地域では平成21年に被害が初確認されて以降、広範囲で被害が確認されています。対策として、予防のために薬剤を樹木に注入する方法や被害拡大を抑えるためにカシナガを粘着テープで駆除する方法、誘引剤を設置して誘い出したカシナガを駆除する方法を実施しています。

(森林林業部)



丸太を積み、カシナガを誘引

## 福島県農業士認定者及び退任者をご紹介します

県では優れた農業後継者を育成確保するため、農村青少年の育成に指導的役割を果たしている方を指導農業士として認定しています。1月18日(火)に福島市のパルセいいざかで認定証交付式が開催され、南会津地域からは新たに下郷町で水稲とりんごを栽培する渡部貴人さんと南会津町田島地区で水稲とトマトを栽培する株式会社エー・サービス取締役の渡辺恵子さんが認定されました。

一方、南会津町田島地区で水稲、花き、大豆を栽培する室井和之さんは、本年度末に指導農業士を退任されます。在任中は農業後継者への指導・助言はもとより県農業士会理事等で尽力されました。8年にわたる農業士としてのご尽力に深く感謝するとともに、室井さんの今後ますますのご活躍を祈念いたします。

これにより当地域の指導農業士は新任の2名と在任中の小山力丸さん(下郷町)、三瓶清志さん(只見町)、湯田浩仁さん、小野孝さん及び芳賀拓也さん(いずれも南会津町)の計7名となります。

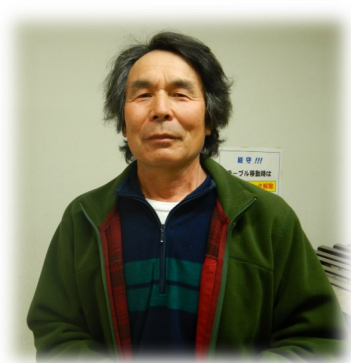
(農業振興普及部)



渡部貴人さん



渡辺恵子さん



室井和之さん

## 山火事予防のお願い

春は空気が乾燥し、風の強い日が多いため、山火事が発生しやすくなります。そこで毎年4月1日(金)から5月31日(火)までを南会津地区春の山火事予防運動強化月間としています。

全国の山火事発生要因で最も多いのは「たき火」、次いで「火入れ」となっていることから、1人1人が火の取扱いに注意することで、多くの山火事を防ぐことができます。

南会津の豊かな山の緑を守るため、山火事ゼロを目指し、火を取り扱う際には以下の点に注意しましょう。

- ①たき火の後始末を徹底する。
- ②煙草の投げ捨てをしない。
- ③強風及び乾燥時の火気使用は避ける。
- ④火入れの際は予め町村に届出を行い、火の始末を完全にする。

(森林林業部)



山火事防止呼びかけポスター



## 山菜の出荷、販売についての注意とお願い

山菜の発生するシーズンとなりましたので、次の点についてご理解とご協力をお願いします。  
○南会津地域では下郷町・只見町・南会津町産こしあぶらの出荷制限が続いています。また、当地域以外においても、摂取制限及び出荷制限となっている市町村があります。出荷制限指示が出されている市町村産の山菜は、出荷販売や宿泊施設等での提供をしないようにしてください。

○出荷制限のない市町村で採取された山菜についても、今シーズンのモニタリング検査で安全が確認されてから出荷販売や宿泊施設での提供を行うよう、ご協力をお願いします。

○検査結果はホームページ「福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報」

(<https://www.new-fukushima.jp/>) に公表されますのでご確認ください。

○例年、山菜と有毒植物の間違いによる食中毒が発生しておりますので、ご注意ください。

(森林林業部)



こしあぶら (左) 、 ふきのとう (右)

## 保安林、林地開発許可制度についてのご案内

森林が持つ水源のかん養、土砂災害の防止などの公益的機能を維持するため、森林法で一定の行為に対して許可等の手続きが定められています。

○保安林

水源のかん養、なだれの危険防止など特定の公益的機能の目標達成のため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定される森林です。立木の伐採や土地の形質変更などの行為に制限があり、都道府県知事の許可が必要です。

○林地開発許可制度

開発行為により周辺に土砂の流出等の災害を発生させないよう、一定の基準により開発が行われるよう定められた制度です。森林法第5条の規定により、都道府県知事がたてた地域森林計画の対象森林(保安林等を除く)において、土石の採取等1haを超える土地の形質変更を行う場合は、都道府県知事の許可が必要です。

上記の行為を行う場合は、当事務所へお問い合わせください。

(森林林業部)



なだれ防止保安林 (只見町蒲生)

キラリと光る南会津の6次化商品～唐辛子にんにく～

県では、県産農林水産物でつくる6次化商品の共通ブランド「ふくしま満天堂」を平成29年度から展開しています。今回紹介する「唐辛子にんにく」は「ふくしま満天堂プレミアム2021」を受賞した商品です。

下郷町の富田商店株式会社で製造・販売されている本商品は、気温や湿度に合わせた水分調整を行い、丁寧な仕込みで時間をかけて熟成させる逸品です。唐辛子の辛味と旨みのバランスが絶妙で、様々な料理に合う、まさに万能調味料です！

唐辛子にんにくは、南会津地域の各販売店の他、Amazonなどのオンラインストアで販売しています。一度食べれば虜になってしまうこの味をぜひご賞味ください。(企画部)



唐辛子にんにく

職員のつぶやき～南会津のうりん雑感～

国内には、「Gマーク」で有名なグッドデザイン賞がありますが、皆さんは「ウッドデザイン賞」があることをご存じでしょうか。

それは、木の良さやその価値を再発見させる製品や取組について優れたものを表彰する顕彰制度です。木を多く使った建物、それを形にする木質建材や工法、そして家具や玩具など、木材・森林利用の新たな価値を創り出すものが全国各地から毎年応募されています。

南会津地域においては、(株)マストロ・ジェッペット(南会津町)の木製玩具や南会津町新庁舎等でウッドデザイン賞の受賞歴があり、ホームページ(HP)から様々な木製品等を見ることができます。

以前から当事務所職員の出産祝いのプレゼントを探しており、(株)マストロ・ジェッペットのHPから木製玩具を有志一同で購入し渡すことができました。同社には友人、知人、お孫さんなどへの贈り物として魅力的なおもちゃが沢山ありますので、ぜひHPで検索してみてください。

○(株)マストロ・ジェッペット 公式HP

<https://www.mastrogeppetto-jp.com>

○ウッドデザイン賞 公式HP

<https://www.wooddesign.jp>

(森林林業部 豊田広幸)

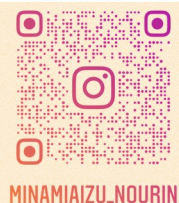


マストロ・ジェッペットさんの木製玩具

南会津農林事務所では公式Instagramのフォロワーを募集しています！

農林産物の話題やイベント情報を発信しています。

右のQRコードを読み取りぜひフォローして下さい。



MINAMIAIZU\_NOURIN

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課  
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1  
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>  
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。